

チャンドラカント博士のご誕生を祝う集い 2012 の報告



チャンドラカント博士を偲ぶ会をインド大使館で行ってから、早いもので、1年が経ちました。今年は、チャンドラカント博士のお誕生を祝う集いの話がもちあがり、11月18日(日)、東京で、お誕生を祝う集いを行う運びとなりました。当日は、チャンドラカント博士のおかげで、今も素晴らしい活動が続けられていることに感謝し、皆さまと貴重な時間を過ごすことができました。



はじめに、生徒たちが、スピーチで1年間の活動報告を行い、今年最も印象に残った活動をスライドショーを交えて、順番にお話しました。次に、木村吉寛、古山みどり、山岸美智子が、ラギニ博士に教えて頂いた曲を演奏しました。8歳の生徒、中村侑人もドレミの演奏を披露し、会場を和ませました。最後に、チャンドラカント博士の演奏ビデオを鑑賞しました。後日、参加者の方々からは、『心温まる素敵な会だった』、『胸が熱くなった』という感想を頂き、皆さまに支えられながら活動が続けられている有難さを感じました。

(以下、スピーチ内容抜粋)

(一人目・木村吉寛)

わたしたちは、現在新しい博士、ラギニ・トリヴェディ博士に、シタールを習っています。ラギニ博士は、プージャ・サラデシュムク博士(ダルシャナム代表で、チャンドラカント博士の妻)に紹介していただきました。プージャ博士は、すぐにラギニ博士にレッスンを依頼してくださいました。ラギニ博士は、チャンドラカント博士夫妻ととても親しい間柄でしたので、特別に引き受けてくださり、2011年8月30日には、早くも一回目のインターネットレッスンを行うことができました。ラギニ博士も、大学院で教えたり、有名な音楽家だった父親と兄の活動を引き継ぐために演奏活動を行うなど、非常に多忙な身でありながら、忙しい合間を縫って、無条件でわたしたちに教えてくださっています。2012年11月6日までの間にこのインターネットレッスンを、34回も受けることができました。

2012年の4月には、インドでシタールのワークショップに参加しました。このワークショップもプージャ博士が全て企画してくださいました。

月命日には、老人ホームに行つて、演奏を行つたり、公共の施設でシタールを練習しました。

チャンドラカント博士の音源を使った、音楽療法も行っています。この音源は、オーストラリアで15年以上にわたってチャンドラカント博士をサポートしてきた、プレストンさんとジュリエットさんにより録音されたものです。音源を使った音楽療法も非常に高い効果があることがわかりました。2012年2月11日から始めて、2012年11月12日までに35回のグループ音楽療法を行いました。

(二人目・古山みどり)

わたしは、インドで行われた奨学金授与式を報告します。これは、2008年にチャンドラカント博士とプージャ博士によってインド伝統音楽の若手演奏家を支援するために創設されました。わたしは、2011年12月にこの授与式に参加するためにインドに行きました。

チャンドラカント博士のCDの効果についてもお話します。アーユルヴェーダのオイルマッサージをする時に、博士のCDを流すことにより、リラックス効果が一層高まることが観察されました。

チャンドラカント博士は、食事が身体だけでなく精神にも非常に大きな影響を与えるということを、よく仰っていました。わたしは、博士から教えていただいたことを大事にして、これからも音楽とアーユルヴェーダ両方のプロモーションを行っていきたいと考えています。

(三人目・山岸美智子)

わたしは、インドで行われたシタールワークショップに参加した感想をお話します。わたしは、2011年の12月にシタールを習い始めました。シタールを習い始めたばかりですが、シタールワークショップに参加して、指が痛くなるまで練習し、なんとか曲が弾けるようになりました。チャンドラカント博士のインド伝統音楽を、今後も伝え続けていきたいと思っています。

(シタールの演奏内容と感想)



はじめに、木村吉寛がラーガ・ヤマンのゆっくりした曲を16拍子に合わせて、12分間演奏しました。



次に山岸美智子がラーガ・ヤマンの中くらいのスピードの曲を1分半演奏しました。その後、再び木村吉寛がその曲をひきつぎ、徐々にスピードを速めていきラーガ・ヤマンの早い曲を5分間演奏しました。



そして8歳の少年、中村侑人が演奏しました。彼は、基礎的な練習を6分間披露しました。この小さな演奏家の登場で、会場は、微笑ましい和やかな雰囲気に包まれました。チャンドラカント博士は、彼にシタールを持って座る姿勢を教えました。



その後古山みどりがラーガ・カマジの16拍子と、チャンドラカント博士が選んでくださったタゴールの曲2曲を演奏しました。



シタール演奏後は、みんなでお茶とサモサ（インドのお菓子）を楽しみました。

最後に、チャンドラカント博士の演奏ビデオを鑑賞しました。このビデオは、2007年の日印交流年に特別に編集されたもので、コンサートや、グループ音楽療法、マントラチャンティングのワークショップなどの映像を見ました。ビデオを見て、改めてチャンドラカント博士の偉大さを感じました。

わたしたちは、今後もインド古典音楽と音楽療法のプロモーションを続けていきます。多くの方々のご支援とご協力に支えられて、活動できていることに感謝いたします。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。